

## II 実践記録・研究のまとめ

### 1 実践記録

#### (1) 授業実践

## 第1学年 English time 学習指導案

令和4年1月26日(火) English time  
児童数 男子15名 女子12名 計27名  
指導者 教諭 梶山裕子  
A L T Christina Higgins

### 1 単元 かずであそぼう(1~10までのかず)

### 2 単元について

本学級の児童は、日常の活動の中で、あいさつや健康観察などを外国語で話すことに慣れ、「この言葉は英語でなんて言うんだろう。」と尋ねるなど、外国語に関心を持って生活している。毎週の English time の学習を楽しみにして、意欲的に学習を進めている。学習した表現を使ったゲームを通して、楽しく外国語に触れることができるようにしている。

本学習は、数を表す表現に慣れ、ゲームを通して数をはっきり、聞き取ってもらえるように発音しながら外国語を使ってコミュニケーションを図ることを楽しむことをねらいとしている。学習した表現を使ったゲームをすることを通して、積極的に外国語を使おうとする態度を育てるのに適した学習である。

そこで、指導に当たっては、数の表現に親しみやすく、積極的に表現できるように、数カード(1~10)やトランプを準備する。

本時では、数の表現に慣れるために、具体物を数えたり、数を使ったゲームを仕組み、友だちとの関わりをもちながら、楽しむことができるようにする。ゲームに夢中になって楽しんでいる間に外国語を聞き続け、外国語で話せたと満足感を感じながら言語やジェスチャーで積極的に伝え合う態度を育てる。

このような指導をすることで、本校の目指す「自分の思いを生き生きと伝え合う主体的な児童の育成」に迫ることができると思う。

### 3 学習計画 (3回 本時3/3)

時	目標と主な活動
1	・1~10の数の表現に慣れる。
2(本)	・「大きい(小さい)数はだ~れ?」ゲームをして数を表現することを楽しむ。
3	・「Make Five」ゲームをして数を表現することを楽しむ。

### 4 本時の学習

#### (1) ねらい

言葉などを使って、積極的に数を表現したり、聞いたりすることを楽しむ。

#### (2) 視点

「大きい(小さい)数はだ~れ?」ゲームを仕組むことで、児童は積極的に外国語を表現し、外国語を使った活動を楽しむことができるだろう。

(3) 展 開

過程	学習活動	教師の支援	備 考
Warm up (2)	<p>1 <b>Greeting</b> あいさつをする。 Let's start English. Good morning. How are you ? I'm ~</p>	<p>○ A L Tと児童で一斉のあいさつをする。</p> <p>○ 「Seven steps」の歌を歌う。</p>	C D
Main act 1 (10)	<p>2 <b>Practice</b> 数の言い方を練習する。</p> <p>3 <b>Today's goal</b> 本時の学習内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>Today's goal</b> かずをつたえて、ゲームをたのしもう。</p> </div>	<p>○ A L Tの発音を聞きながら練習させる。</p> <p>○ 本時は、数を紹介し合って大きい数（小さい）数を見つけて楽しむ活動をすることを知らせるために、デモンストレーションを行う。</p>	数カード  トランプ
	<p>4 <b>Activity</b> 「大きい（小さい）数はだ～れ？ゲーム」を楽しむ。</p>	<p>○ グループで、一枚ずつカードをひいて、数を紹介し合う。</p> <p>○ 活動ができていない児童に寄り添い、一緒に考えたり、表現したりする。</p>	
Looking back (3)	<p>6 <b>Looking back</b> 今日の学習をふりかえる。</p> <p>5 <b>Good-bye</b> あいさつをする。 Let's start English. See you.</p>	<p>○ 今日の学習を振り返らせ、活動の反省や感想を発表させる。</p> <p>○ 児童の態度や外国語の表現について良かったところをあげ、次時への意欲を高めるようにする。</p>	

(4) 評価

言葉などを使って、積極的に数を表現したり、聞いたりしていたか。

- ・主に英語を使おうとする態度面について評価する。(H L T)
- ・主に外国語を聞いたり、話したりすることについて評価する。(A L T)

## 5 授業考察

### (1) 授業の視点

「大きい（小さい）数はだ〜れ？」ゲームを仕組むことで、児童は積極的に外国語を表現し、外国語を使った活動を楽しむことができるだろう。

### (2) 授業研究より

<児童が主体的に取り組むことができる場の工夫について>

- ・ 全教育活動を通して、本時の語彙について十分練習することができていたため、児童は自信をもって活動に取り組むことができた。
- ・ ゲームの流れが7手順あったが、全員が理解して活動できていた。
- ・ 児童によるデモンストレーションで活動の意欲が高まった。

<学んだ外国語を使って発信する場の工夫について>

- ・ トランプカードという身近な遊び道具を使って、ルールがシンプルで1年生が外国語を使って楽しめるゲームで自分がひいたカードの数を発信するのに最適であった。
- ・ 「大きい数」、「小さい数」を考えさせる偶然的なゲームで、誰にでもチャンスがある効果的なゲームであった。1回目と2回目は「Big Number」、3回目は「Small Number」でちょっと考えさせる変化を持たせていたのもよかった。
- ・ 「体を使っての学び」は低学年に合っている。歌とゲームが連動していて楽しい雰囲気でも活動できていた。
- ・ 時間配分が限られているなかでの活動なので、ルールがシンプルで何回もできるものが良い。
- ・ グループ活動を取り入れることで、Clear voiceを意識して一人一人が発音できて良かった。聞いている他の子も復唱するとより発音の機会が増えて良い。
- ・ 友だちの数をしっかり聞くということに重きを置くのであれば、カードをあえて見せずに発音させてもよいのではないか。見せずに発音だけしていたグループもあった。
- ・ 慣れてきたら、ALTが意図的にジェスチャーで「Big」、「Small」を表現してもよいのではないか。

### (3) 今後の課題

- ・ English timeの活動内容の年間指導計画については、学年の系統性を考えて検討する必要がある。
- ・ English timeは15分という短い時間なので、3～6年の指導過程と同様にするのか、低学年独自のものにするのかは検討が必要である。